



**MITSUBISHI  
MOTORS**

**2022年度  
第3四半期 決算報告**

2023年2月2日

# 1. 2022年度第3四半期累計 実績

## 2. 2022年度 業績見通し

## 3. ビジネスハイライト

# 2022年度第3四半期累計 業績サマリー【前年同期比】



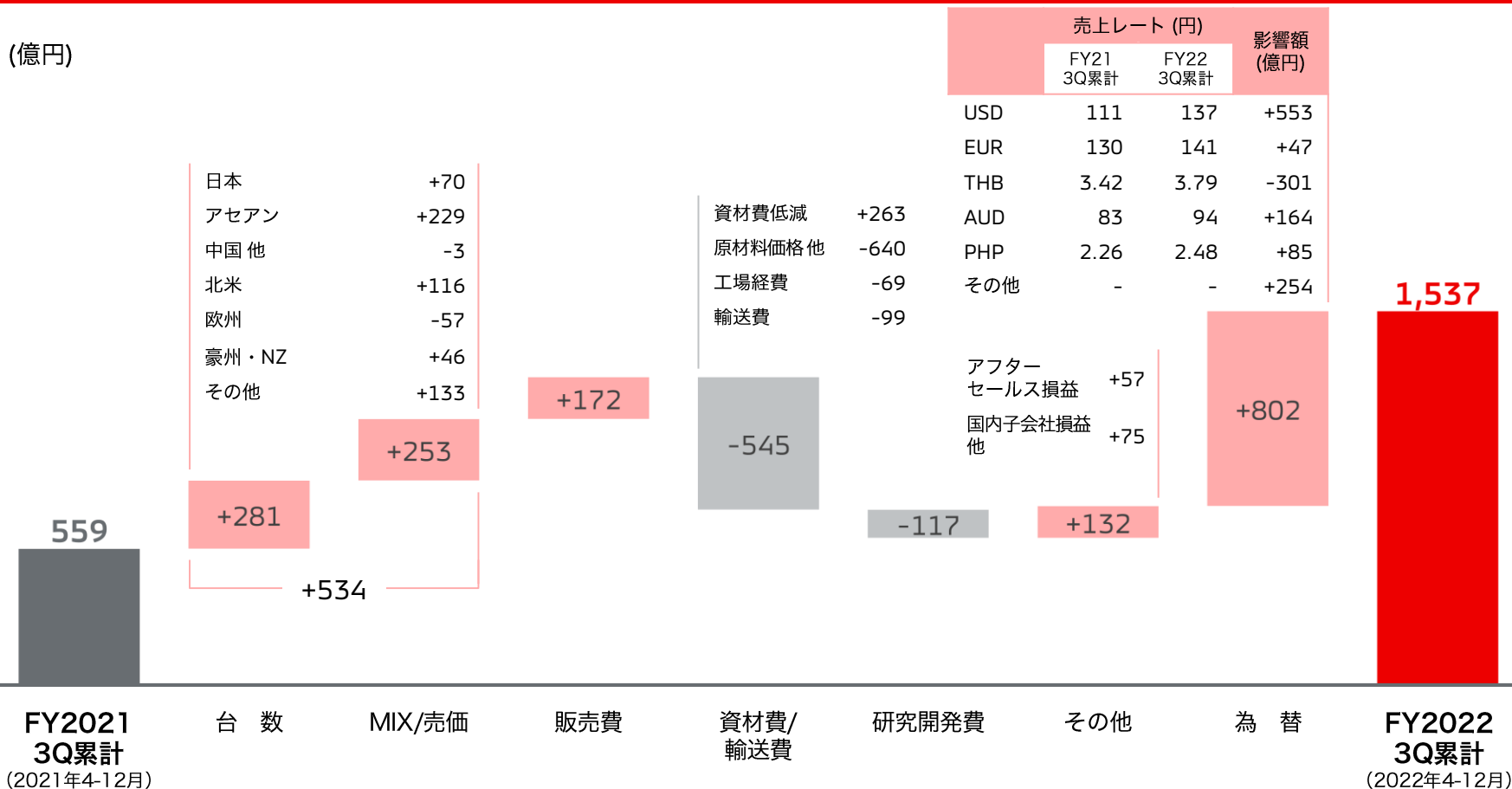
(億円、千台)	第3四半期累計 (4-12月)				四半期別		
	FY2021	FY2022	増減		1Q	2Q	3Q
			差異	率			
売上高	14,161	<b>18,053</b>	+3,892	+27%	5,287	6,295	6,471
営業利益 (利益率)	559 (3.9%)	<b>1,537</b> (8.5%)	+978	+175%	308 (5.8%)	538 (8.5%)	691 (10.7%)
経常利益	611	<b>1,547</b>	+936	+153%	495	518	534
当期純利益*	447	<b>1,308</b>	+861	+193%	386	441	481
販売台数 (小売台数)	687	<b>630</b>	-57	-8%	217	209	204

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

# 2022年度第3四半期累計 営業利益変動要因分析【前年同期比】



(億円)



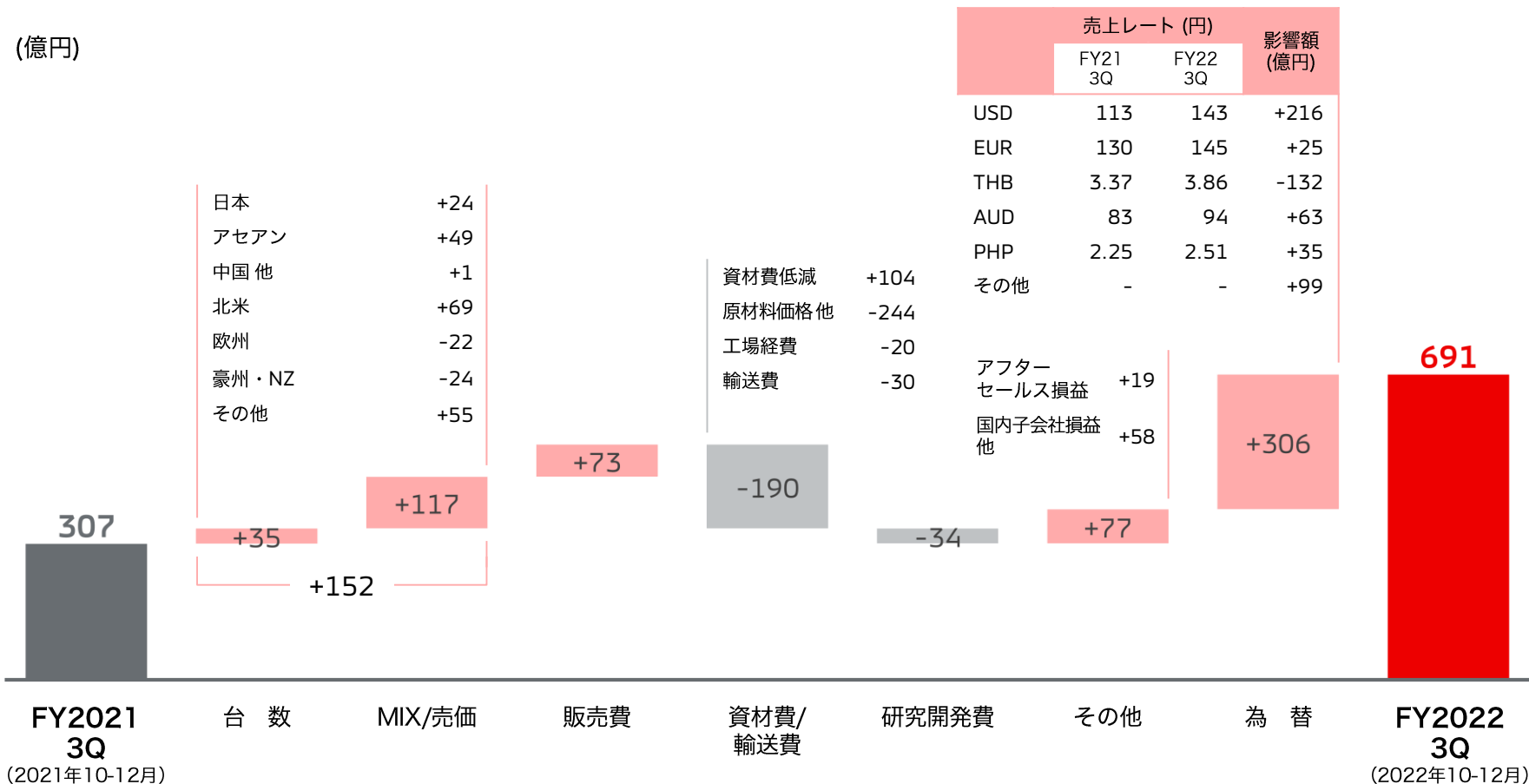
FY2021 3Q累計  
(2021年4-12月)

FY2022 3Q累計  
(2022年4-12月)

# 2022年度第3四半期 営業利益変動要因分析【前年同期比】



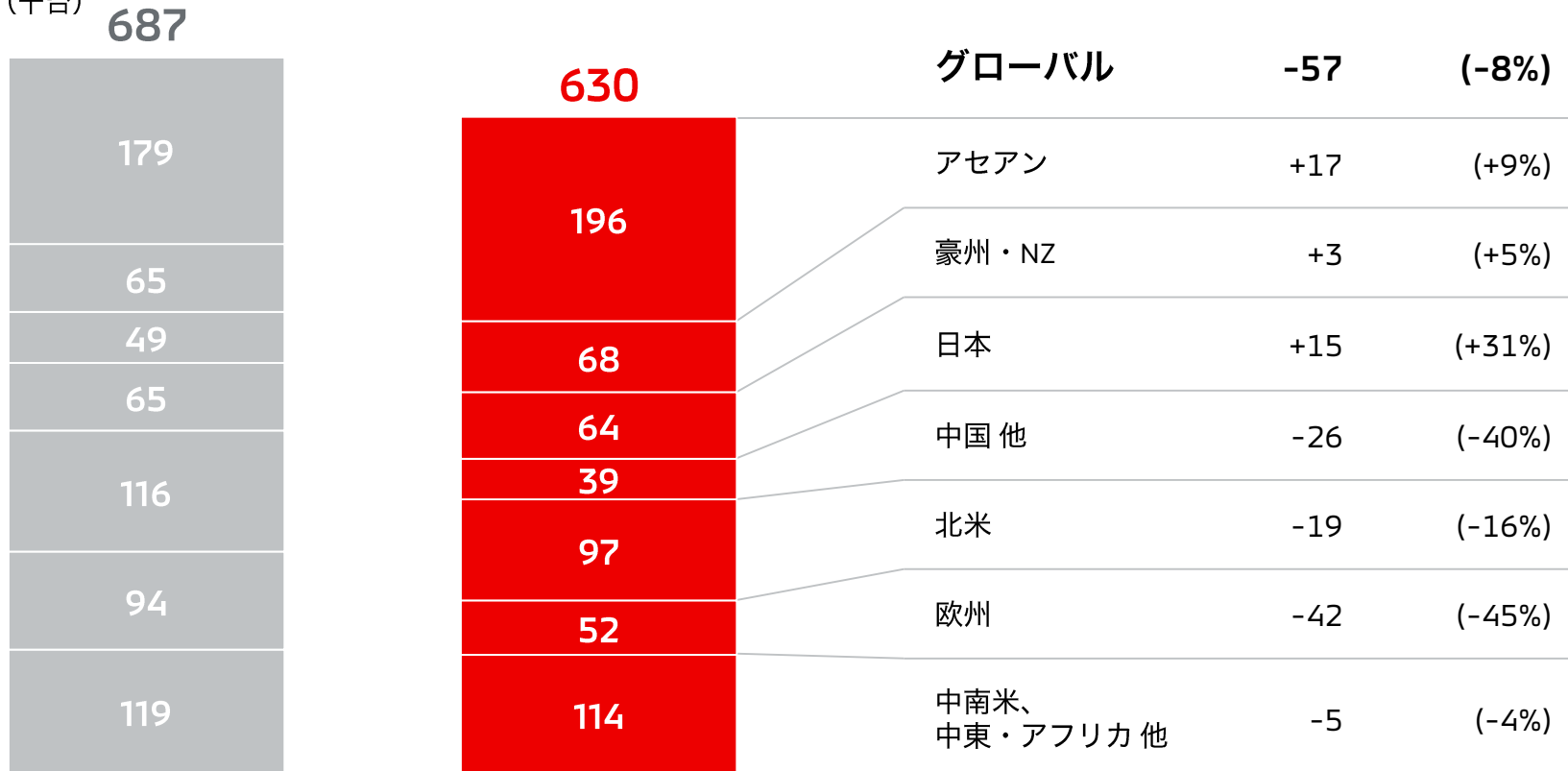
(億円)



# 2022年度第3四半期累計 販売台数実績【前年同期比】



小売台数（千台）



**FY2021 3Q累計**  
(2021年4-12月)

**FY2022 3Q累計**  
(2022年4-12月)

2022年度より欧州の一部国を「中東・アフリカ 他」に地域区分を変更。それに合わせ、上記2021年度実績数値も同様に変更。

## アセアン

販売台数・マーケットシェア (当社調べ)

	FY2021 3Q累計		FY2022 3Q累計
アセアン	179千台	→	196千台
タイ	35千台 (6.2%)	→	36千台 (5.9%)
インドネシア	83千台 (12.1%)	→	67千台 (8.6%)
フィリピン	26千台 (12.4%)	→	43千台 (15.5%)
ベトナム	20千台 (8.9%)	→	31千台 (10.4%)



- 総需要の回復基調はインフレや利上げにより足元で鈍化
- タイ・インドネシア: 価格訴求に頼らない、質重視の販売に注力  
フィリピン・ベトナム: エクспанダーが継続的に受注好調
- ➡ 外部環境の変化を注視しつつ、台数・損益・シェアのバランスに注意を払った適切な販売施策を推進

## 豪州・NZ

販売台数・マーケットシェア (当社調べ)

	FY2021 3Q累計		FY2022 3Q累計
豪州・NZ	65千台	→	68千台
豪州	50千台 (6.6%)	→	53千台 (6.8%)
NZ	15千台 (12.9%)	→	15千台 (13.9%)



- 総需要は2019年度水準まで回復(豪州)も、インフレ/金利引上げを背景に足元伸び悩み
- 供給制約のリカバリーに尽力・新型アウトランダーの好調 (豪州)  
Clean Car Discount施策を捉えたPHEVモデルの拡販 (NZ)
- ➔ 納期長期化の中、受注維持及びキャンセルの最小化に向けた取り組みを推進  
PHEVリーダーとしてPHEV市場拡大を牽引



## 北米

### 販売台数

	FY2021 3Q累計		FY2022 3Q累計
北米	116千台	→	97千台
うち アウトランダー (ガソリンモデル)	(39.3千台 旧型+新型)	→	36.0千台) 新型



- 供給制約により総需要の伸び悩みが継続も、足元3Qで回復の兆し
- 在庫が限られる中でディーラーへの供給を最優先、小売販売維持に努める
- ➔ アウトランダー: ガソリン・PHEVモデルセットでの広告宣伝活動により販売拡大を図る  
競争環境が厳しくなる中、価格訴求販売から商品力訴求販売へのシフトを推進

## 日本

### 販売台数

	FY2021 3Q累計		FY2022 3Q累計
日本	49千台	→	64千台
登録車	22千台	→	34千台
軽自動車	27千台	→	30千台



- 9月以降の総需要が前年を上回り改善傾向
- 電動車ラインアップ拡充の中、新型アウトランダーPHEV / エクリプス クロスPHEV / 新型eKクロスEV / ミニキャブ・ミーブいずれも受注好調
- ➔ 電動車を中心とした拡販により、電動車=三菱自動車のイメージの浸透を図るサービス・お客様接客品質向上に継続的に注力し、販売全体の質改善に取り組む

1. 2022年度第3四半期累計 実績

2. 2022年度 業績見通し

3. ビジネスハイライト

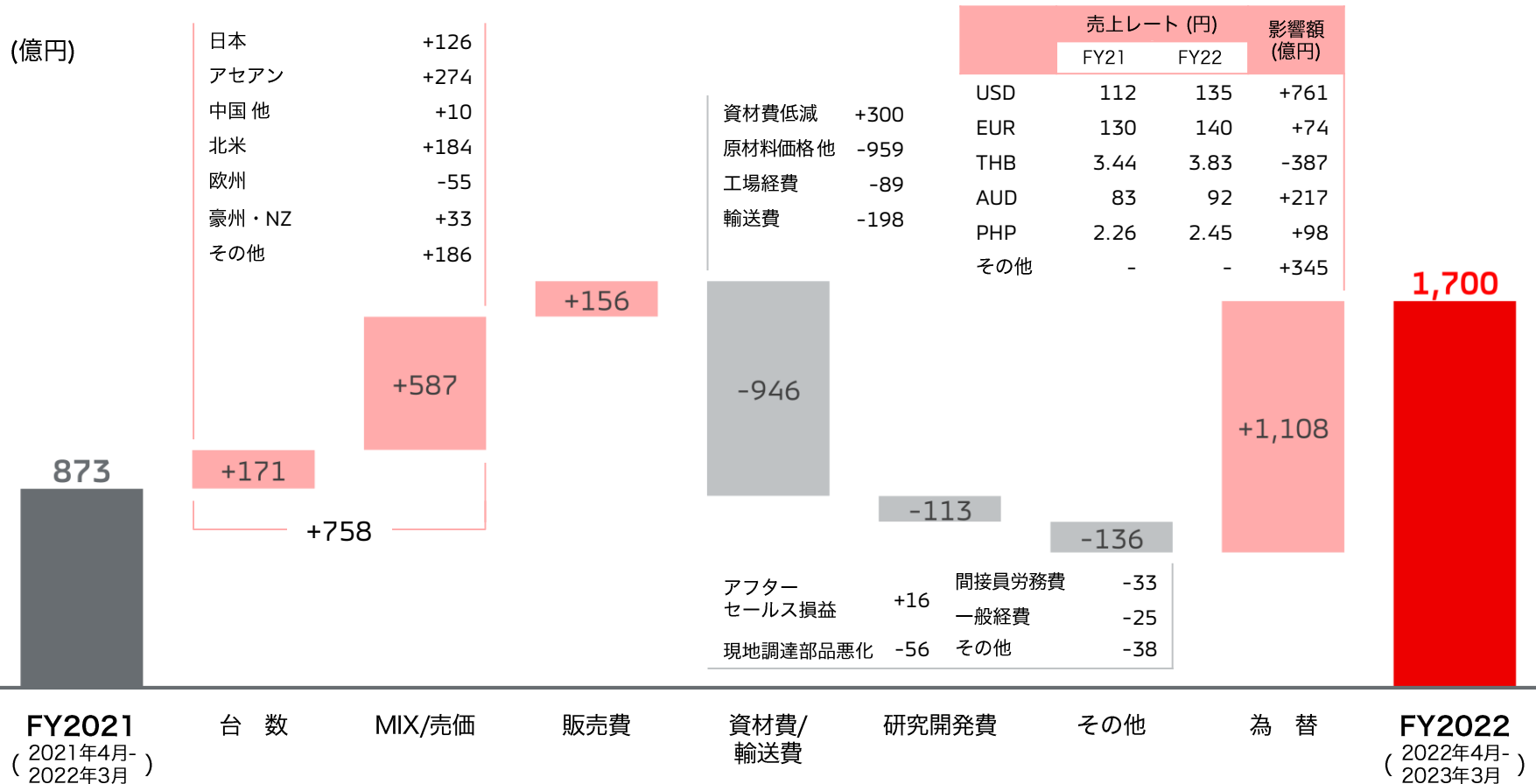
# 2022年度 業績見通し【前年度比】



(億円、千台)	FY2021 (2021年4月-2022年3月)	FY2022 見通し (2022年4月-2023年3月)	増減	
			差異	率
売上高	20,389	24,800	+4,411	+22%
営業利益 (利益率)	873 (4.3%)	1,700 (6.9%)	+827 (+2.6 pp)	+95%
経常利益	1,010	1,800	+790	+78%
当期純利益*	740	1,400	+660	+89%
販売台数 (小売台数)	937	866	-71	-8%

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

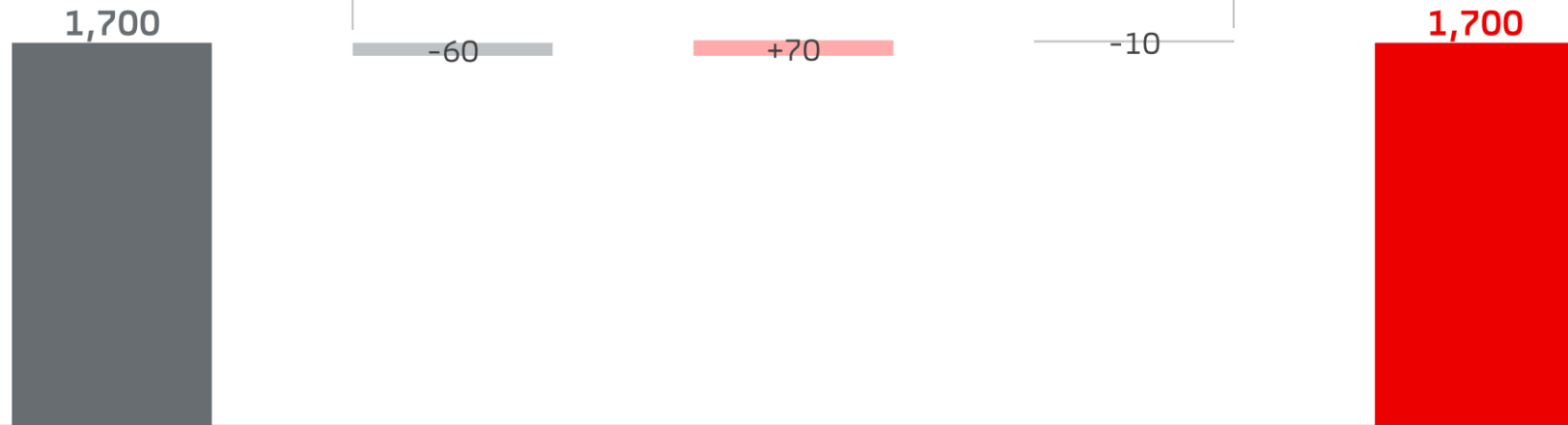
# 2022年度 営業利益見通し変動要因分析【前年度比】



# 2022年度 営業利益見通し変動要因分析【前回公表比】

(億円)

		売上レート (円)		影響額 (億円)
		前回	今回	
日本	±0			
アセアン	-27	USD 134	135	+20
中国 他	-1	EUR 137	140	+27
北米	-29	THB 3.82	3.83	-13
欧州	-9	AUD 92	92	+3
豪州・NZ	-5	PHP 2.46	2.45	-6
その他	+11	その他 -	-	-41



FY2022  
前回見通し  
(11月公表)

台数

販売費

為替

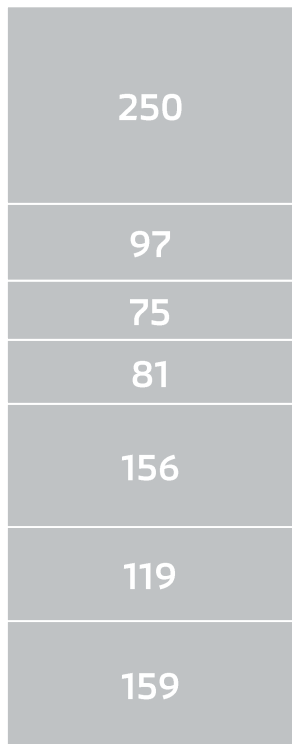
FY2022  
今回見通し  
(2月公表)

# 2022年度 販売台数見通し【前年度比】



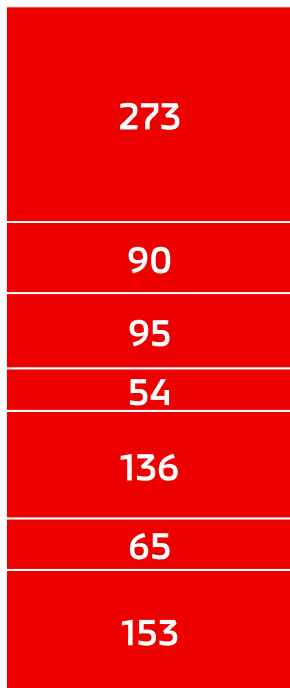
小売台数（千台）

937



**FY2021**  
(2021年4月-2022年3月)

866



**FY2022**  
(2022年4月-2023年3月)

グローバル	-71	(-8%)
アセアン	+23	(+9%)
豪州・NZ	-7	(-7%)
日本	+20	(+27%)
中国 他	-27	(-33%)
北米	-20	(-13%)
欧州	-54	(-45%)
中南米、 中東・アフリカ 他	-6	(-4%)

2022年度より欧州の一部国を「中東・アフリカ 他」に地域区分を変更。それに合わせ、上記2021年度実績数値も同様に変更。

1. 2022年度第3四半期累計 実績

2. 2022年度 業績見通し

3. ビジネスハイライト



## eKクロスEV、国内カー・オブ・ザ・イヤー三冠達成\*



- 軽自動車+バッテリーEVで、社会的課題解決への可能性を示す
- 操縦安定性や静粛性などを高次元で纏め高い評価を受ける

\*2022-2023日本カー・オブ・ザ・イヤー (日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会)、2023年次RJCカーオブザイヤー (NPO法人 日本自動車研究者・ジャーナリスト会議) 及び 2022~2023日本自動車殿堂カーオブザイヤー (NPO法人 日本自動車殿堂)。いずれも日産『サクラ』と同時受賞

## チーム三菱ラリーアート、初参戦の『トライトン』でAXCR\*2022総合優勝



チーム三菱ラリーアートへの技術支援を通じたモータースポーツ活動への参画

- 三菱自動車のクルマづくりにかける情熱や三菱車の楽しさを発信
- 参戦を通じて得たノウハウを市販車の開発にフィードバックし、一層タフで力強く頼もしい三菱自動車へ

\*アジアクロスカントリーラリー

# 国内軽ラインアップ強化: 新型デリカミニ

東京オートサロン2023に参考出品

1月13日より予約注文開始:  
受注 約**4**千台 (31日時点)

今年**5**月に発売予定





**MITSUBISHI  
MOTORS**

Drive your Ambition

# APPENDIX

---

# 2022年度第3四半期末 バランス・シート 【前年度末比】

(億円)	FY2021 (2022年3月末)	FY2022 3Q (2022年12月末)	増減
資産合計	19,284	20,565	+1,281
うち現金及び預金	5,115	5,768	+653
負債合計	12,981	12,646	-335
うち有利子負債	4,805	4,313	-492
純資産合計	6,303	7,919	+1,616
自己資本 (自己資本比率)	6,068 (31.5%)	7,642 (37.2%)	+1,574
ネットキャッシュ 【自動車事業及び消去】	2,497	3,869	+1,372

# 2022年度第3四半期累計 設備投資・研究開発費・減価償却費

## 設備投資

287億円

-28% (YoY)

## 研究開発費

759億円

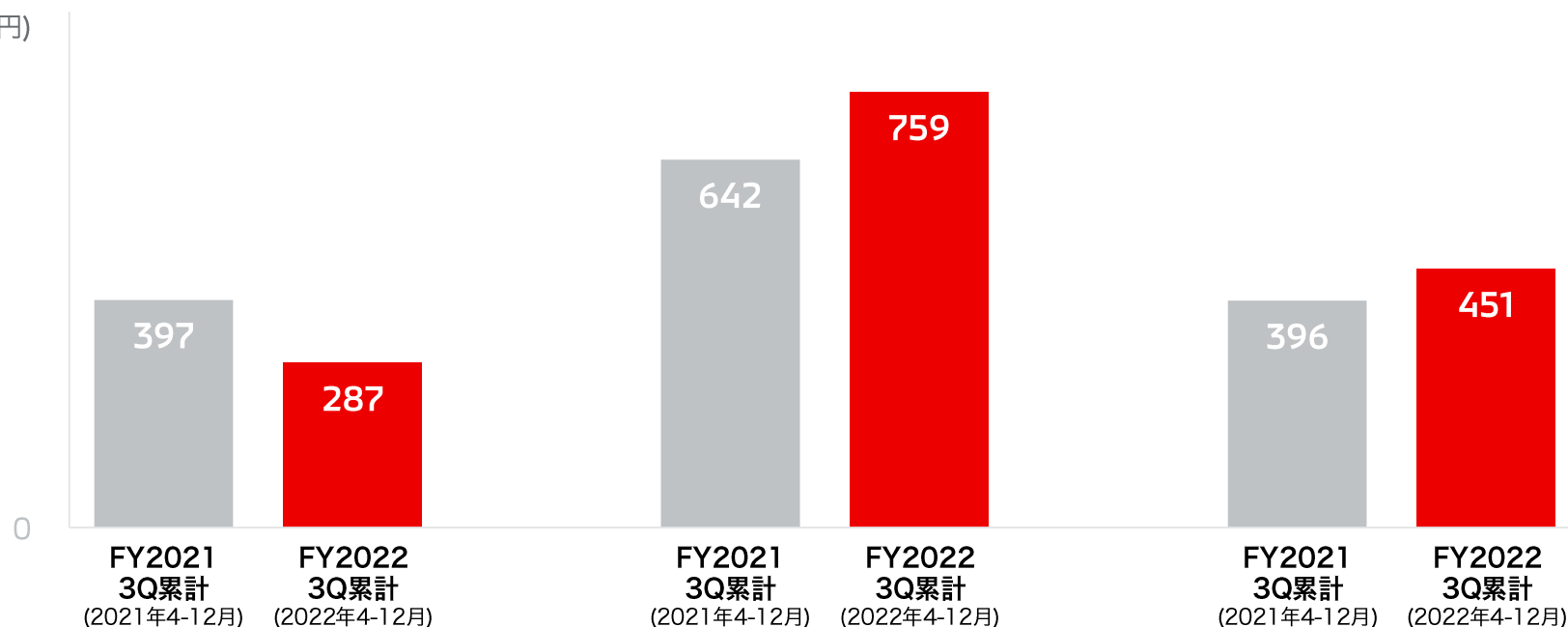
+18% (YoY)

## 減価償却費

451億円

+14% (YoY)

(億円)



# 2022年度第3四半期累計 地域別業績【前年同期比】

(億円)	売上高			営業利益		
	FY2021 3Q累計 (2021年4-12月)	FY2022 3Q累計 (2022年4-12月)	増減	FY2021 3Q累計 (2021年4-12月)	FY2022 3Q累計 (2022年4-12月)	増減
合計	14,161	18,053	+3,892	559	1,537	+978
- 日本	2,632	3,901	+1,269	-60	-117	-57
- アセアン	3,236	4,354	+1,118	215	393	+178
- 中国 他	123	88	-35	24	26	+2
- 北米	2,697	3,929	+1,232	138	732	+594
- 欧州	1,788	1,067	-721	-9	41	+50
- 豪州・NZ	1,694	2,184	+490	179	318	+139
- その他	1,991	2,530	+539	72	144	+72

2022年度より欧州の一部国を「その他」に地域区分を変更。それに合わせ、上記2021年度実績数値も同様に変更。



# 2022年度 売上高見通し【前年度比】

(億円)	FY2021 (2021年4月-2022年3月)	FY2022 見通し (2022年4月-2023年3月)	増減
合計	20,389	<b>24,800</b>	+4,411
- 日本	3,939	<b>5,450</b>	+1,511
- アセアン	4,661	<b>6,050</b>	+1,389
- 中国 他	167	<b>100</b>	-67
- 北米	3,972	<b>5,550</b>	+1,578
- 欧州	2,351	<b>1,550</b>	-801
- 豪州・NZ	2,547	<b>2,950</b>	+403
- その他	2,752	<b>3,150</b>	+398

2022年度より欧州の一部国を「その他」に地域区分を変更。それに合わせ、上記2021年度実績数値も同様に変更。

# 2022年度 設備投資・研究開発費・減価償却費見通し

## 設備投資

900億円  
+44% (YoY)

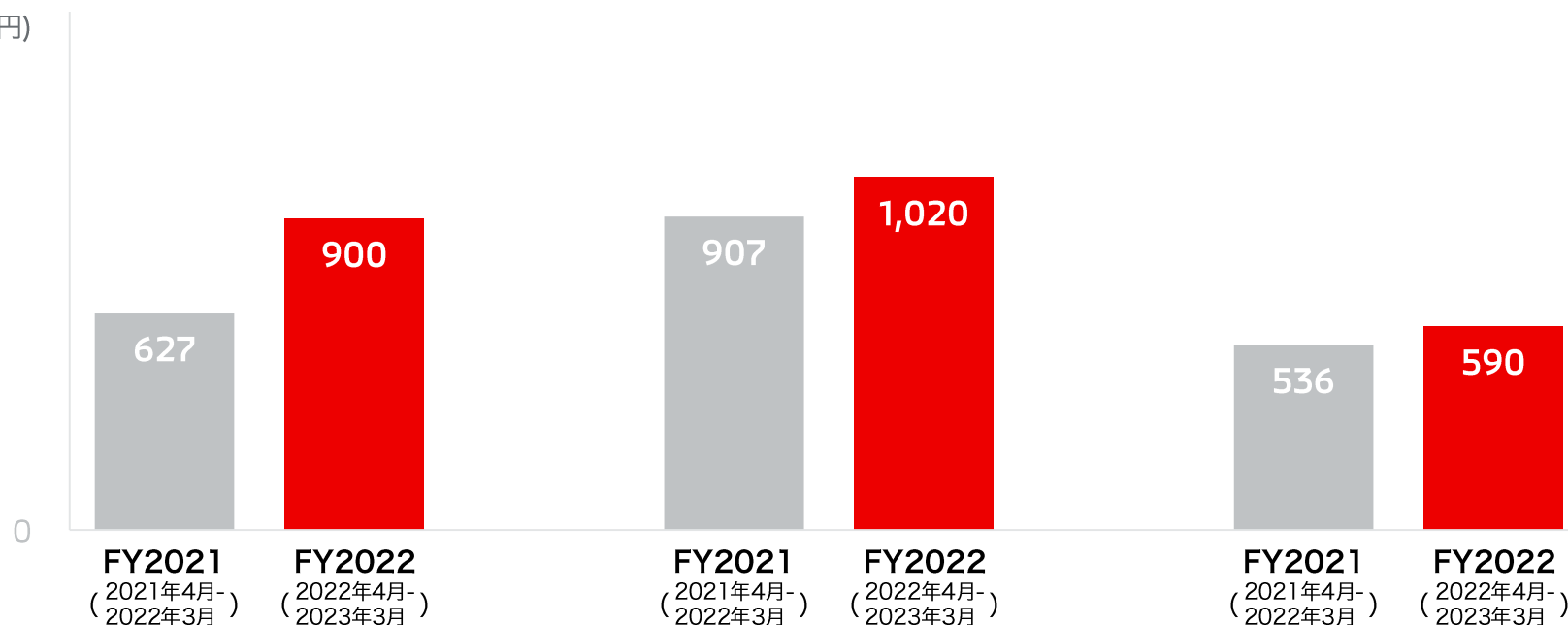
## 研究開発費

1,020億円  
+12% (YoY)

## 減価償却費

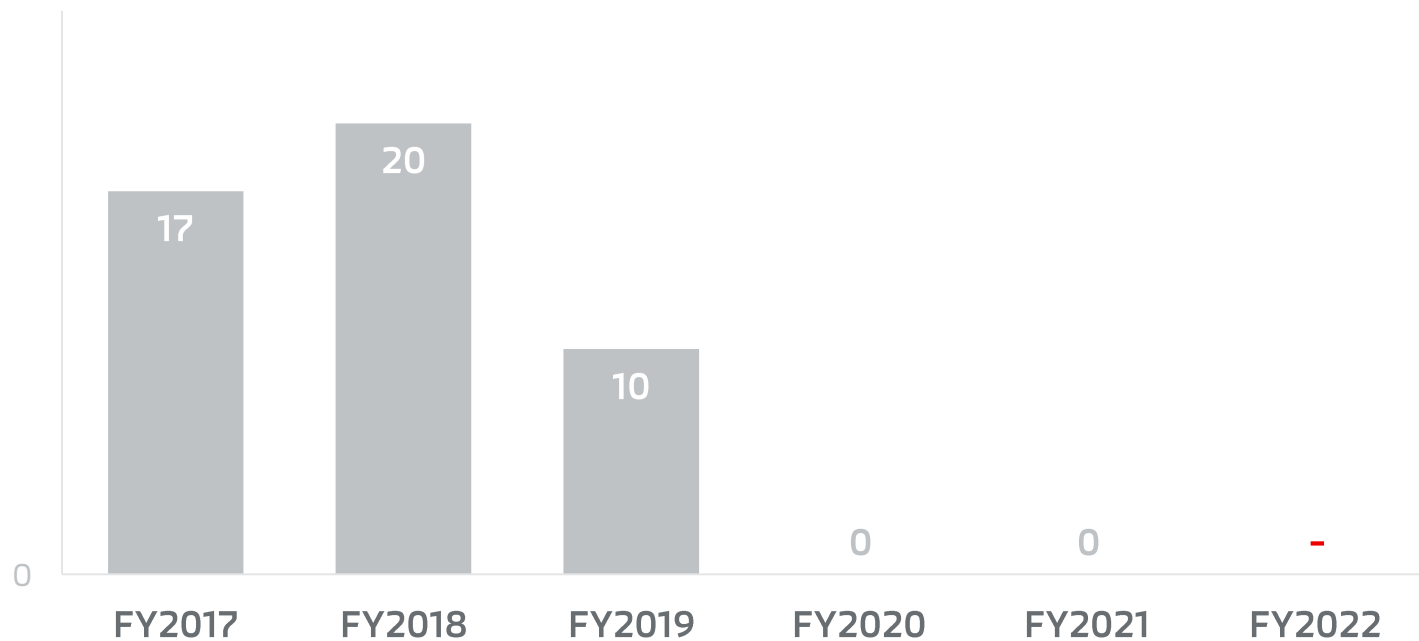
590億円  
+10% (YoY)

(億円)



## 1株当たり配当金: 未定 (見通し)

(円)



本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでおります。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、金利・為替の変動、関係法令・規則の変更可能性等により、実際の業績がこれらの記述と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。